

あなたの声を“カタチ”にします！

勝山ひでお通信

Vol. **27**

ごあいさつ

日頃より、皆様には温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

令和2年の世相を表した漢字が「密」であったように、新型コロナウイルスの感染対策に追われた大変な1年でありました。未だ感染の終息の兆しが見えない中、疲弊した経済の回復、エッセンシャルワーカーへの支援、新しい日常への対応など、課題が山積しています。

このような時代だからこそ、永遠の原点である「大衆とともに」との立党精神を赤々と燃やし、今まで以上に市民の皆さんに寄り添い、皆さんの声をお聞きし、その声を政治に届け、皆さんが未来に希望を持てるような政策の実現に全力で働いてまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「選択的夫婦別姓制度」の法制化の議論を！

長野市議会は、12月定例会本会議で選択的夫婦別姓制度の法制化について、国に議論を求める意見書を全会一致で可決しました。同趣旨の意見書の可決は上田市議会に続き、県内2例目になります。

意見書は、婚姻時に望まない改姓で「自己同一性を喪失し苦痛を感じる」「一部公的書類で旧姓使用が認められない」など問題が生じていると指摘。近年の世論調査でも同制度導入に賛成または容認の回答が66%上るとし、法制化の積極な議論を求めた。

県内有志の団体「選択的夫婦別姓 陳情アクション信州」が国へ意見書を求める請願書を市議会に提出していました。公明党長野市議員団も請願の採択に協力をさせていただきました。



本会議終了後、選択的夫婦別姓 陳情アクション信州の皆さんと公明党長野市議員団で記念撮影

発行： 勝山ひでお

TEL/FAX 026-296-5328



長野市下駒沢2253-1

E-mail: katsuyama@nkomei.com

12月議会の個人質問

12月定例議会の一般質問に立たせていただきました。今回は「小・中学校のプール、水泳授業の在り方について」、「被災者の住宅支援について」の2点について質問をさせていただきました。主な質問の内容、答弁は以下のとおりです。
※コロナウイルス感染防止対策として、透明なアクリル板の設置とマスクを着け質問をしています。



小・中学校のプール、水泳授業の在り方について



勝山 学校プールの建設費、ランニングコスト、40年間のライフサイクルコスト、新しい水泳学習として公営屋内プールや民間スイミングスクールを利用する場合にかかる費用を伺う。また、学校プールでの水泳学習の課題と新しい水泳学習のメリットデメリットを伺う

教育次長 建設費はおよそ1億5千万円。ランニングコストは1校当たり年間およそ83万円。40年間のライフサイクルコストは1校当たり2億1,700万円で、1年ではおよそ540万円。新しい水泳学習（山王小学校の場合）の経費は年間265万円かかった。学校プールの課題は、維持管理に係る教員の負担が大きい、健康上のリスク高い。新しい水泳学習は健康リスクや教員の負担が軽減される、専門性の高い指導が受けられるなどのメリットがある。移動の時間がかかることがデメリット。

勝山 コスト、健康面、安全面、教員の負担軽減、学習効果など総合的にみると段階的かつ、可能な限り学校プールを廃止し、新しい水泳学習に移行すべきと考えるが。

教育次長 全ての学校を機械的に移行するのではなく、プールの改築等を検討せざるを得ない学校を中心に、全市的な視点から将来を見据えて検討する。

勝山 各学校、駐車場が狭い、児童センター・プラザが狭い、遠いなど課題がある。プールの跡地利用については、そのような課題解決も参考にしながら検討いただきたい。

教育次長 プール廃止の際は、学校との協議や庁内関係部局と連携を図り、敷地の有効活用が図れるよう、丁寧に関係者と検討したい。



被災者の住宅支援について



勝山 災害公営住宅は希望者に不公平感が出ないように確保をしていただきたい。また、仮設住宅として利用しているトレーラーハウスを希望する被災者へ払い下げるなどの住宅支援をしては如何か？

建設部長 入居希望者の実情に応じた、きめ細かい対応を行いたい。また、不公平感が生じないように十分に配慮して支援をしていきたい。トレーラーハウスの払下げについては、撤去及び再設置が比較的容易であることから、住宅再建の一つの手法になると考える。現在、再設置にあたっての敷地条件、費用などについて調査をしている。